



▲プロバスケットボールチーム「埼玉ブロンコス」の2014・2015シーズン「ホーム最終戦」。惜しくも有終の美を飾ることはできませんでしたが、最後まで全力プレーで会場が盛り上がりました。試合後は、所沢市観光大使に再任する委嘱状交付式が行われました。4月19日(日)／所沢市民体育館 (撮影：市民カメラマン・中村 仁)

突撃! レポーター! ライオンズ特派員! 今号から12回にわたり、「ライオンズレポーター」による突撃レポートで地元球団・埼玉西武ライオンズの情報をお伝えします。

今回のレポーター!

近藤総也さん(緑町在住) ファン歴：8年 好きな選手：栗山 巧選手 毎年15回は西武プリンスドームに足を運んでいます。



今回の突撃先!



郭俊麟投手(背番号12/右投げ・右打ち) 今シーズンから加入した台湾出身の23歳。ルーキーイヤーとなる今シーズン、開幕ローテーションの一角を担い、2連勝を飾るなど、早くもチームに欠かせない存在に。4月12日(日)の「台湾デー」では初黒星を喫したものの、今後の「郭旋風」に期待!

インタビュー「郭投手ってどんな人?」

4月9日の西武プリンスドームはかなりの冷え込み。前日は所沢でも雪が降り、目の前で練習をする選手たちは入念に体を温めていました。郭投手は練習後に台湾メディアのインタビューに応え、それが終わるといよいよ私がインタビューする番です。うまく質問できるか不安でしたが、とても気さくに話してくれました。一番気になっていた「所沢の印象」を聞くと、「来たばかりで、まだ知らないことだらけです。プロベテランには時々行きますが、とてもにぎわっていてびっくり。プロの生活に慣れてきたら所沢のまちを散策してみたい!」と明るい笑顔。



球場では分からない「普段の生活」を聞いてみると、「日本語の勉強中」。まだ話せないものの、相手が何を話しているかはだいぶ理解できるようになったとのこと。今は翻訳アプリを使いながら、他の選手とコミュニケーションを取っているそうです!

インタビューの最後に、力強く握手してもらえて感激! ライオンズを日本一にするため、はるばる海を越えて来てくれた郭投手を所沢全体で応援してあげたいですね。今後の活躍に期待しましょう!

レポートを終えて

緊張しましたが、選手と目の前で話すことができ、とても貴重な思い出になりました!

商業観光課 ☎2998・9155

みんなのひろば



▲節目の第30回を迎えた「小指ハナミズキまつり」。土曜・日曜の2日間にわたり、小指駅北口のハナミズキ通りを中心にダンスや演奏のステージ、屋台村、フリーマーケットなどが催されました。元気いっぱいの「子供みこし」が参加者の目を楽しませていました。4月19日(日)／ハナミズキ通り(小指町) (撮影：市民カメラマン・滝島利男)

はっぴつところ 野老っ子

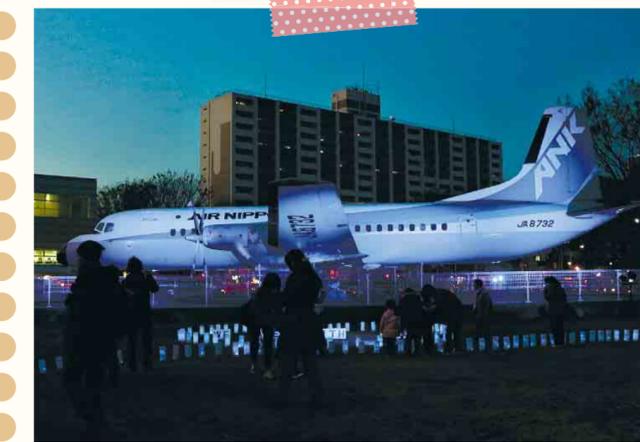
みんなで歌って踊れる「所沢のご当地ソング」ができたのをご存じですか? 公募の55曲から「ところのうた」が2曲選ばれました。1つはJAY'S GARDEN(5頁参照)が歌う「toko toko ところん!」、もう1つが札幌市在住の朝倉 修さんが作詞作曲した「ところん音頭」です。今回は「ところん音頭」に命を吹き込んだ所沢市出身のアーティスト、長谷川大輔さんと高山由美子さんをご紹介します。二人とも数年前まで市内在住で、所沢は故郷。長谷川さんは所沢航空発祥記念館や西武プリンスドームによく通っていたといいます。高山さんは、小学生のときに遠足で東所沢駅から所沢航空記念公園までを往復したそうです。「市外に出てみて、所沢の良さを再認識した」と口をそろえます。所沢駅を中心に「ゴリ山田カバ男」の名前で路上ライブを展開する長谷川さんは「電車に乗っていて、所沢が近づくと『帰ってきた』という安心感がありますね」、病院などの施設やお祭りなどのイベントでライブ活動を続けている高山さんも「所沢は自然が多く、ほっとします」とほほ笑みます。

宮本町 竹内 和枝 私には75歳で、上の歯1本と下の歯9本が義歯となりました。それでも「海の幸や焼いたマツタケ、カニミソを食べたい」、「サザエを焼いて香ばしい匂いを味わってみたい」など、食いしん坊で恥ずかしい限りです。だから私の身に残っている歯は宝なのです。歯石除去の定期検診を受けてから1つの歯の寿命を取って自分用の歯を延ばし、総入れ歯にならないようにしようと思えるようになりました。幸い優しい先生に巡回していただくので、残った歯を大切に、いつまでも自分の歯で食べることを大切に、いつまでも守り、磨いた後の幸福な瞬間をかみしめています。



ひろば

スマホで動画! アプリでARのある写真を写すと動画が見られます。詳細は市HP(「AR」で検索)へ



▲世界自閉症啓発デーの夜に世界中の名所などを青色にライトアップする『ライト・イット・アップ・ブルー』。「航空発祥の地」である所沢市では、航空公園駅前の飛行機(YS-11)をライトアップし、子どもたちが手作りした青い行灯が華を添えました。4月2日(日)／航空公園駅前広場 (撮影：市民カメラマン・平出敏夫)

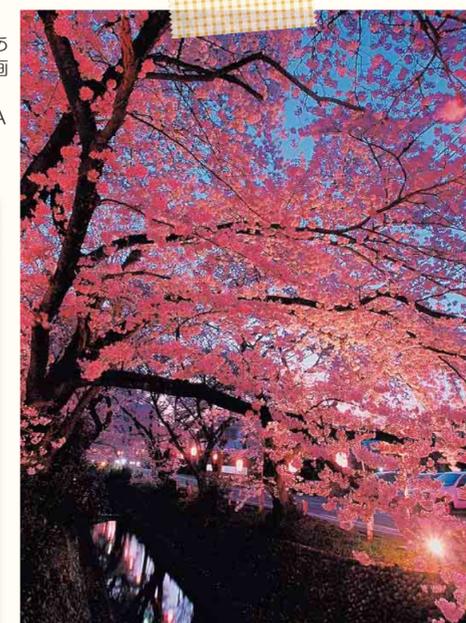
みんなで踊ろう! ところん音頭!

長谷川大輔さん・高山由美子さん(所沢市出身)

依頼から収録まで約2カ月というハードスケジュールでしたが、故郷に貢献したいという熱い思いで歌い上げました。曲はもちろん、所沢の「良いところ」がたくさん詰まった歌詞を二人とも絶賛。「長く住んでいたけれど、初めて知った名所もあった」と長谷川さん。高山さんは「ワクワクして歌うのが楽しい」と話してくれました。4月4日に行われた市民文化フェアでの初ライブは、歌と踊りで会場が大盛り上がり。お子さんからお年寄りまで誰でも歌って踊れる「ところん音頭」のCD(税込1,000円)は市役所1階の福祉の店「ポピンズ」で購入できます。「所沢音頭と並ぶ夏の定番になってほしい」と目を輝かせる二人に、これからも所沢のステージでところん音頭を歌ってほしいですね。夏祭りの特別ゲストとして呼んでみては? 問い合わせは所沢市観光協会事務局(商業観光課内) ☎2998・9155まで。



▲文化フェアでの初ライブ



▲春の風物詩としてすっかり定着した「東川沿いの桜並木ライトアップ」。満開の桜がやわらかい光に包まれ、幻想的な風景を作り上げ、訪れた見物客は、思い思いにカメラのシャッターを切っていました。4月2日(日)／東川(西新井町) (撮影：市民カメラマン・遠井洋子)

地域の絆 やっぱり自治会・町内会でしょ! ⑫ ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

下安松町内会

下安松町内会は清瀬市と隣接する松井地区にあり、820世帯で活動する町内会です。町内会では多くの独自行事を行っており、多様な会員の協力と行動力が自慢です。早春の「敬老会」は手打ちうどんや日本舞踊、ハーモニカ伴奏による合唱など参加者の得意分野を生かし、盛大に祝います。6月末の「ジャガイモ掘り」は、地域の農家のサポートのもと4カ月間丁寧に育てたジャガイモを収穫する体験学習行事。普段は土に触れる機会が少ない子どもたちも、収穫の喜びと達成感で笑みがこぼれます。11月の文化の日には「子どもみこし祭り」を開催します。「子どもたちに楽しい思い出を残したい」という思いを込めて、役員が店を手づくり。近隣の幼稚園や安松小・中学校の子どもたちが鼓笛演奏・和太鼓演奏・ソーラン節を披露し、子どもたち自身が盛り上げるにぎやかでアットホームなお祭りです。佐藤和美会長は、「畑を貸してくれる農家さんや軽トラックを出して防犯パトロールの呼びかけをしてくれる方、準備などで細やかに動いてくれる若いお母さんや女性部の方々、みんなありがたいです。会長職を続けて来られたのは、みんなが仲良く、一生懸命動いてくれるおかげです。」と会員の行動力を誇らしげに語ります。そんな佐藤会長も、市内・市外に限らず他の自治会の良い取り組みを町内会活動に取り入れたい、会報誌「下安松かわら版」を発行したりするなど持ち前の行動力を発揮しています。

平成26年度から集団資源回収を始め、その報償金をお祭りの運営費や新規事業に充て、町内会の活動を充実させることができました。下安松町内会の行動力は松井地区全体に広がっています。27年度は町内会設立50周年。これからも会員の行動力を原動力に、新しいアイデアを取り入れながら下安松町内会を盛り上げていきます。次回回は富岡地区の郊外マンション自治会を紹介します。地域づくり推進課 ☎2998・9083 ☎2998・9491



▲6月末のジャガイモ掘り